

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	研究及び開発の向上に関する評価環境の戦略的構築			担当部局	科学技術・学術政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	科学技術・学術戦略官(制度改革・調査担当)付	科学技術・学術戦略官(制度改革・調査担当)高橋憲一郎	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	「第6期科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26日閣議決定) 「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成28年12月21日内閣総理大臣決定) 他		
政策	7 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策			主要経費	科学技術振興費		
施策	7-2 様々な社会課題を解決するための総合知の活用						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_7-2.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	研究開発の評価については、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成28年12月21日内閣総理大臣決定)を受けて改定した、「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」(平成14年6月20日文部科学大臣決定、平成29年4月1日最終改定)を踏まえ、より一層実効性の高い研究開発評価を実施することで、優れた研究開発が効果的・効率的に行われることを目指してきた。本事業においては、研究開発評価システムの一層の改善と充実を図るため、研究開発システムの在り方について幅広く検討を行うとともに、評価に関する専門的知見や経験を有する人材の育成を行うなど、研究開発評価システムを改善及び充実するための推進方策の具現化を図る。						
現状・課題(5行程度以内)	研究成果の社会への還元、国の研究開発に対する投資の説明責任を果たすため、研究開発評価は必要不可欠である。特に昨今の経済情勢のなかで限りある資源が有効に活用されていることを適切に説明するには、評価に関する概念や理解を深め、より一層普及し、より効果的な評価を実施していくことが重要である。本事業は平成23年度より実施をはじめ、研究開発機関等における研究開発評価活動の事例抽出及び他機関への普及、研究開発評価人材の育成などを実施し、研究開発システムの改善及び充実を資するための成果をあげてきた。令和5年度以降も研究開発評価を普及していくためにも、研究開発評価人材育成を進めていく。						
事業概要(5行程度以内)	研究及び開発の特性に応じた評価方法や評価環境の構築に関する調査・分析を実施するとともに、「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」の普及や研究開発機関等における研究開発評価の実施状況の把握・課題抽出のための意見交換を実施し、これらの結果をもとに事例集や報告書を作成・周知する。また、文部科学省、研究開発法人及び大学等の職員や研究者を対象に外部有識者による研究開発評価に関する研修を実施する。						
事業概要URL	研究開発評価人材育成研修(初級) : https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/hyouka/1411579.htm 成果物(報告書等) : https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/hyouka/1296587.htm						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	▲0.3	
		令和5年度第1次補正予算				▲0.3	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	24.2	24	23.9	23.8	24.1
		執行額(G)	20.8	18.6	8.4		
		執行率(%) =(G)/(F)	86%	78%	35%		
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	86%	78%	35%		
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
		(項)	科学技術・学術政策推進費		百万円未満(百万円に満たない場合は小数点第二位)を四捨五入したため、合計で不足が生じている。		
(目)	研究開発評価推進調査委託費	13	13				
(目)	非常勤職員手当	9	9				
(目)	庁費	1.0	1.0				
(目)	諸謝金	0.9	0.9				
(目)	委員等旅費	0.6	0.6				
(目)	その他	▲0	▲0				
計(A)		24.1	24.1				

活動内容① (アクティビティ)	文部科学省、研究開発法人及び大学等の職員や研究者を対象に外部有識者による研究開発評価に関する研修を実施する。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	研究開発評価に関する研修を毎年度開催する。	研究開発評価人材育成研修の開催回数	活動実績	回	1	1	-	-	-
			当初見込み	回	1	1	1	1	1
↓	成果目標①-1の設定理由(アウトプットからのつながり) 研究開発評価システムを改善及び充実するためには、評価関係の人材育成が不可欠であることから、成果目標及び成果指標については、研修を通じた人材育成及びその参加人数とした。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
	研究開発評価に関する研修を通じて、評価関係人材の育成を図る。※前回の参加人数を目標としている。	研究開発評価人材育成研修の参加人数	成果実績	人	47	38	-	-	
			目標値	人	40	47	38	38	
			達成度	%	117.5	80.9	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	文科省調べ								
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
	研究開発評価については、評価に関する制度の理解や知識が必要だが、大学や研究開発機関等では、評価を担当する事務職員がジョブローテーションで数年ごとに異動し、評価の経験・知識が蓄積されにくいなど、人材の集積や人材育成が進んでいない状況である。そのため、研究開発評価の効率化及び質の向上に資するとともに、各機関における研究の推進や評価に関わる事務職員の質の向上を図る観点から、研究開発評価に関する基礎的な知識等の習得による、研究開発評価人材の育成を目的として、研究開発評価人材育成研修(初級)を実施している。アウトプットである研究開発評価人材育成研修の継続的な開催が研究評価人材の育成につながり、最終的な事業の目標である研究開発評価システムの一層の改善と充実に結びつくため。								

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-
	URL	-
	該当箇所	-

事業所管部局による点検・改善

点検結果	<p>本事業では、研究開発機関等における研究開発評価活動の事例抽出及び他機関への普及、研究開発評価人材の育成などを実施し、研究開発システムの改善及び充実に資するための成果をあげてきた。令和4年度については、年度当初の想定を超えた突発的な業務が生じることとなり、事業を実施することが出来なかった。例年通りのスケジュールで業務を進めていくことが困難となり、事業の実施を後ろ倒しした。</p>	目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)
		-

改善の方向性	<p>研究成果の社会への還元、国の研究開発に対する投資の説明責任を果たすため、研究開発評価は必要不可欠である。特に昨今の経済情勢のなかで限りある資源が有効に活用されていることを適切に説明するには、評価に関する概念や理解を深め、より一層普及し、より効果的な評価を実施していくことが重要である。令和5年度は、令和4年度に実施できなかった原因の分析を行った上で、調査内容等の精査を行い、例年よりも速やかに調査及び研修に着手できるよう、スケジュールの見直しを図る。そして、計画的に事業目的を達成できるように実施するとともに、適切な予算執行に努めていく。</p>
--------	--

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見

事業内容の一部改善	この事業は、令和4年度決算において多額の不用額が生じていることから、不用額が生じた要因を分析したうえで、予算執行の適切な改善をすべきである。
-----------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善	令和4年度の委託事業については、突発的な業務により、委託業務の執行が困難となった。令和5年度はこうした状況をよく分析し、委託する調査内容等を精査し、スケジュールの見直しを図るとともに、一般競争入札の時期を早めた。
-------	--

公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ

過去に受けた指摘事項と対応状況	-
	-

上記への対応状況

過去に受けた指摘事項と対応状況	-
	-

その他の指摘事項

過去に受けた指摘事項と対応状況	-
	-

上記への対応状況

過去に受けた指摘事項と対応状況	-
	-

備考

研究開発評価人材育成研修(初級) : https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/hyouka/1411579.htm
 成果物(報告書等) : https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/hyouka/1296587.htm

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	0188	0189	新23-0030
平成24年度	0210		
平成25年度	0199		
平成26年度	0196		
平成27年度	0187		
平成28年度	0187		
平成29年度	195		
平成30年度	194		
令和元年度	文部科学省	-	0185
令和2年度	文部科学省		0187
令和3年度	2021	文科	20 0201
令和4年度	2022	文科	21 0195

文部科学省
8.4百万円

非常勤職員
委員等旅費

8.3百万円
0.1百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック